



打ち水やこのみず苦難の歴史あり

過日研修で県都へ向かう途中、今治市のみずがめ、玉川湖ダムの水位が激減しているのを目撃した。こんな状況を見るのは初めてで、取水制限されても他の水源で補え、当面市民生活には支障ないらしいが、島ならそうはゆくまいと、改めてわが町の現状を思い出した。

■万年水飢饉

我が上島町は、戦後社会が安定し経済成長が続く頃、万年水不足の憂き目をみていた。弓削島、佐島では自家井戸、買水、ため池浄水や海水淡水化装置での簡易上水道。岩城でも自家井戸、買水、赤石ダム等を水源とした簡易上水道事業。生名も同じく自家井戸、買水。昭和60年(1985)頃までは、諸島みな似た状況だった。住んでいる地区に限つて言つても、夏場は時間給水だつたり、給水再開時に濁つた水が出るのもしばしば。行政はいかにそれを解決するか、常に心を悩ましていた。

■友愛の水

現在はどうだろう。四島合併して生活用水は、魚島の海水淡化プラント、高井神島の買水以外には、本土からの海底送水管を通じて「愛称・友愛の水」が潤沢である。そのおかげでなり立つて、全町公共下水道整備とあいまつて、我が町は、こども水回りに関しては都市部を凌駕している。もちろん本土広島県からの分水と言つても、浄化処理されての配水。無料でことがなつて居るわけではない。快適さの対価として、日本一高い水道代を町民は受忍している。しかし日照りの夏も水道が止まることはない。



▲写真は、小雨のため6割ほどに水位の下がった今治市玉川湖ダム。(2017年7月30日撮影) ●貯水率が50%以下になった場合、小中学校・公営プール使用禁止と10~15%の水道減圧が実施される予定。●9月開催の愛媛国体ではボートレースの会場なので、コース干ばつ維持が可能かが危惧されている。

定する。今を去る35年前の話。編纂委員が本文で述懐しているように、

廣島県から愛媛県への越県分水。夢物語で実現するとは當時

誰も思つていなかつただろう。

それを成し遂げたのは、町史

編纂委員が本文で述懐している

よう、

島民の生活用水確保に強い使

命感を持つた人々がいたこと

離島振興法の存在と、これの

趣旨を自分の血肉としていた

人々がいたこと、

現実に水量が比較的近くにあ

つたこと、

たつこと、たつたに違いない。

●政治経済が活性的な時期であ

つたこと、たつたに違いない。

●昨日の続きは今日のつづき

この分水の実現については忘

れてはならない人物がいる。故

人になられたが、元弓削町長木

下良一氏だ。

改めて旧町村誌を紐解いてみ

ると、越県分水について最も詳

しく記述しているのが弓削町誌

(上下2分冊)、計38ページ。

岩城村誌(上下2分冊)では

2ページ。生名村誌は年表に記

載がある。当時関わった人々の

苦労は甲乙付けがたいが、木下

氏の事業にかける情熱、支えた

スタッフの苦労・・・それが記

録としての記事に滲んでいる。

●越県分水

(昭和55年3月、初就任した

木下良一町長が、立候補に際し、

上水道整備を重点努力目標の一

つとして具体的治政公約の場へ、

つとて動き始めた」と、越県分水文書として強く掲げたことによつて書き始めた」と、越県分水につき弓削町誌は書き始める。

結果的に事業は、昭和57年

9月に愛媛・広島両県知事によつて基本協定調印により確

定する。今を去る35年前の話。

弓削大橋ができたから生名島

も掛かり岩城橋も掛かる。全町

を光回線で繋いだ弓削ケーブル

テレビ局も木下時代に開業した。

■ふるさとの偉人

我々の「いまあつて当たり前」

の社会基盤整備は、先人の長い

積み重ねの結果ではあるが、折

にふれ、誰がそのことに殊に情

熱を注いだかを思い起すのは、

大事なことだ。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

「日本

海員組合」をつくつた濱田國太郎の顕彰活動に混ぜてもらい、折

異論もあるうが、喪われた國太郎像の復元活動をした。

なぜ人は、特定の個人を形と

筆者的には、かつていろいろ

して残したがるのか。その人の

顕彰活動があつても全然おか

しくないと思つていい。

筆者もここ3年ほど、生名島

出身で、大正10年、前

海員組合を創った男・探訪

濱田國太郎を顕彰する会（参加自由）
(毎月 25 日 13 時～。生名開発センター 2F で開催)
(36)

濱田國太郎と村上賢藏

瀬戸内海生名島にある三秀園は、因島の麻生旅館の開業者でもあり、明治末から昭和 15 年ころまで船舶解体業等で財を成し、その間因島の子女のために幼稚園や女学校をつくることに奔走した麻生イトの別荘です。麻生イトについては生名島在住の歴史家・村上貢さんの著した「女傑一代 麻生イトの生涯」という冊子に詳しいです。今年に入って三秀園内にある大きな記念碑の拓本を取り組んできましたが、このたび一応の解説作業がおわりました。結果については屋外案内板に仕立て、園内に設置させてもら



う予定です。解説の結果、三秀園及び立石観音霊場関連の設計と造園監督は生名村の村上賢藏（賢造とも）という人物が行ったということが、昭和 3 年に建てられたこの記念碑に書かれています。そして、昭和 10 年に國太郎の寿像が生名・嚴島に建立され、それに伴い整備された國太郎公園は、この賢藏が作ったということが、これまた嚴島に残された歌碑に、和歌 2 題として刻まれ、残っています。

三秀園の建造に関わっていたころの賢藏は齢 70。すると國太郎公園を手がけた時は 75 歳で、まあ昔なら数え年だったにしても高齢者でした。賢藏はまた岡山後楽園の庭園師を長く務めていたことも、太宰府天満宮の修理にも携わった経験の持主であることも、この記念碑に書かれています。岡山後楽園は、陸軍大演習に際し天皇の御座所にされたところから、結果的に賢藏は、皇室御用達の庭園師の格好となります。そうなると、これはもうなかなかの大人物ではないでしょうか。

大西幸江の

My ノート

2017.8.15 発行 発行者：大西幸江

〒7942410 越智郡上島町岩城 4780

TEL/FAX 0897-72-9035

メール yukie.onishi@nifty.com

まず院より始よ

困っていることの声を上げよう

どんなに心を寄せても、その人自身にはなれない。けれども、本当に「痛かったでしよう」と想像して声をかけることはできても、本当の痛みは感じない。それと同様に、声を上げなければ困つて

いることは周りに伝わらない。最初は小さな声でも賛同する人、同じように感じる人がいれば声は大きくなり、寄り添う人ができ、よい方向に向いていくはず。ほんのちよつと勇気を出して、困つてい

ることの声を上げ、それにより添つてもらえる環境が作れたらきっとこの町の将来は明るい。そのためにもみんなで協力できる体制づくりが必要である。まずは私自身が問題意識を持つこと、声を上げること、声を上げた人に寄り添うことを探けていきたい。

先日、シングルマザー交流会主催の勉強会に出席してきた。テーマは「子どもの貧困」。シングルマザーの日本における就業率は、八〇%を超えており、他の国よりもずっと高い数値を示している。でも、こと賃金になると平均年収一八一万元。子供を育てていけるような収入には達していない。いろいろな補助制度はあるが、物理的には家庭の貧困が子どもの貧困に直結する。

うになった。
子供を連れての勤めは誰かに頼らなければ成立しない。その受け皿が学童保育や保育園だと思う。しかし、わが上島町では費用や人的要因の問題があり、個別に

対応できないのが現実だ。少人数が多ければできることも、過疎高齢化の進むこの町では難しい。そういうふうに

必然的に就業の場や就業形態が限られる。決定的な解決を見つけるのは難しく

現状認識ができたところからのスタートである。

た岩城町民ブール。最初は、「ブールを開いてない。」と思つた。
といふ小さな声だけといふ。一人の声は小ささいが、次第に多くの人に伝わり、求める声が大きくなれば、要望がかなえられ

た。
居民の声が大きく

なれば、

といふ例だつと思

う。

自分一人の声では何もで

きないとと思うかもしれない

が、実はその一人の声が大切なのである。困つている

こと、不満なこと、クレームは、本のタイトルではな

いが、発想を変えれば宝の

ことである。一人の小さな声

を発しないことには、何も

始まらない。誰かの「困つた」をどのよう方向から

見て、問題意識をもつて受

け止め、考え方を模索していくのか。それが改

革のスタートである。

この歳でクラシックバレエを習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ

習つて友人 A 友人 B に打ち明けた。そうしたら「アラベスクが見た

い」とか「チュチュ姿を見たい」とか、騒ぎ立てる。女は、とかくおしゃべりである。

友人 A のご主人は、私と面識

がある。そのご主人にまでバラ